



パレットとやま

児童が熊野川で水生生物や水質を調べました

梅雨の晴れ間の7月3日（火）に富山市立熊野小学校が熊野川で水生生物や水質を調べました。河川環境に理解を深めてもらおうと、4年前から学習会も含め、富山河川国道事務所が熊野小学校の取り組みに支援を行っています。

当日は4年生66名、先生4名が参加しました。児童は歓声を上げながら水生生物を捕まえ、調査を楽しんでいました。川の中の石をひっくり返すと、ヒゲナガカワトビケラやヒラタカゲロウが見つかり、「きれいな水」から「ややきれいな水」であることが分かりました。

パックテスト（薬品の入ったパックを用いた簡易な水質調査）による水質調査も行い、COD（化学的酸素要求量）やアンモニアやリン等を調べました。また、1mの透視度計を用いた調査も行いました。

参加した児童は、「65cmの目盛まで水を捨てないと、底の十字の板が見えなかった。これからは水を大切にしたい。」などと話していました。

富山河川国道事務所は、小学校の取り組みを今後も継続して支援していきます。



水生生物調査 富山県国際健康プラザ下流



水生生物判別



集合写真



学習会 熊野小学校



国土交通省

富山河川国道事務所 河川管理課

〒930-8537 富山市奥田新町2番1号 Tel.076-443-4701（代）

ホームページ：<http://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/>